

令和6年 7 月 25 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 国語

代表者 阿賀中 学校

氏名 大里康暁

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【国語】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①言葉の特徴や使い方に関する事項
方 法	○新出漢字の示し方、重要語句の示し方及び言語・漢字・文法の扱い

発行者	調査・研究内容															
東書	〈第1学年〉 【新出漢字の数及び脚注等への示し方等】 ○365字 ○脚注に行数、音訓を示している。○訓読みの送り仮名については、太字で示している。○脚注のない教材については、教材末にページ数、行数、音訓を示している。○教材末に「新出漢字一覧」の掲載ページを示している。○巻末に「新出漢字一覧」として、ページ数、部首、画数、筆順、各音訓についての用例が示してある。○新出音訓については、フォントサイズを新出漢字より小さくして、脚注にオレンジの●印と共に表示している。 【重要語句の脚注への示し方及び数】 ○意味や用法を理解しておきたい語句を、行数、記号とともに示している。 <table border="1"> <tr> <th>記号</th><th>記号の意味</th><th>数</th></tr> <tr> <td>意</td><td>意味を調べよう</td><td>75</td></tr> <tr> <td>文</td><td>短文を作ろう</td><td>33</td></tr> <tr> <td>類</td><td>似た意味の語句（類義語）を挙げよう</td><td>46</td></tr> <tr> <td>対</td><td>反対の意味の語句（対義語）を挙げよう</td><td>8</td></tr> </table> 【言語（ページ数）】 ○日本語探検 ・音声の働きや仕組み（1） ・接続する語句・指示する語句（3） ・語の意味と文脈（2） ・方言と共通語（2） 【漢字（ページ数）】 ○漢字道場 ・活字と書き文字・画数・筆順（2） ・音読み・訓読み（2） ・国語の学習に関わる漢字（1） ・漢字の部首（2） ・形の似た漢字（1） ・他教科で学ぶ漢字（1） ・漢字の成り立ち（2） ・小学校六年の漢字〈日常〉（3） ○資料編 ・新出漢字一覧（12） ・新出音訓一覧（1） 【文法（ページ数）】 ○文法の窓 ・文法とは・言葉の単位（1） ・文の成分・連文節（1） ・単語の分類（1） ○文法解説 ・文法とは・言葉の単位（3） ・文の成分・連文節（5） ・単語の分類（4）	記号	記号の意味	数	意	意味を調べよう	75	文	短文を作ろう	33	類	似た意味の語句（類義語）を挙げよう	46	対	反対の意味の語句（対義語）を挙げよう	8
記号	記号の意味	数														
意	意味を調べよう	75														
文	短文を作ろう	33														
類	似た意味の語句（類義語）を挙げよう	46														
対	反対の意味の語句（対義語）を挙げよう	8														
三省堂	〈第1学年〉 【新出漢字の数及び脚注等への示し方等】 ○420字 ○脚注に行数、本文中の読みを示している。○教材末に「新出漢字」「新出音訓」のページ数、音訓を示している。○教材末に漢字の学習ができる二次元コードを掲載している。○巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」として、ページ数、音訓、中学校で学ばなくてもよい音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 【重要語句の脚注への示し方及び数】 ○意味や用法を理解しておきたい語句を、行数、記号とともに示している。 ○意味や用法を理解しておきたい語句と共に、対義語、類義語を示している。															

記号	記号の意味	数
意	辞書で意味を調べる	135
類	類義語	50
対	対義語	15

【言語（ページ数）】

○言葉発見 ・音声のしくみとはたらき（２） ・接続する語句・指示する語句（２） ・方言と共通語（２） ・比喻・倒置・反復・対句・体言止め（２）

○参考資料 ・学習用語辞典（６） ・語彙の広がり（４） ・五十音図とローマ字（２）

【漢字（ページ数）】

○漢字のしくみ ・活字と手書き文字・画数・筆順（２） ・成り立ちと部首（３） ・漢字の音と訓（２） ・コラム 漢字文化をアレンジする日本の力（２）

○漢字を身につけよう（９） ○参考資料 ・一年生で学ぶ漢字字典（１２）

・一年生で学ぶ音訓（１） ・小学校六年生で学習した漢字（１） ・常用漢字表音訓一覧（１３） ・常用漢字表 付表（１）

【文法（ページ数）】

○文法の窓 ・言葉の単位・文節の関係（１） ・単語の類別・品詞（１）

○文法のまとめ（１３）

〈第１学年〉

【新出漢字の数及び脚注等への示し方等】

○３９６字 ○新出漢字には、本文中にルビが振ってある。 ○新出漢字が出てくる行の下の脚注に漢字のみを示している。 ○教材末に「この教材で学ぶ漢字」として、ページ数、音訓、用例を示しているものがある。 ○教材末に「この教材で学ぶ漢字」と並列して、「新出音訓」や『付表』の語を示している。 ○巻末に「一年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。

【重要語句の脚注への示し方及び数】

○意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。

記号	記号の意味	数
意	調べたり考えたりして意味を理解する。	50
文	短文を作って表現に生かす。	30
同	同じ音をもつ語句を調べる。	2
対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3
類	似た意味をもつ語句を調べる。	17
考	考えるときの観点として生かす。	5

【言語（ページ数）】

○言葉の小窓 ・日本語の音声（１） ・日本語の文字（１） ・方言と共通語（１）

○言葉と文法 解説編 言葉（解説） ・日本語の音声（４） ・日本語の文字（４） ・方言と共通語（４） ○言葉の自習室 ・理解に役立つ言葉（２） ・表現に役立つ言葉（２） ・学習に必要な用語（２）

【漢字（ページ数）】

○漢字の広場 ・漢字の部首（２） ・画数と活字の字体（２） ・漢字の音と訓（２） ・熟語の構成（２） ○漢字の練習（７） ○漢字 ・一年生で学習した

漢字（１０） ・ 小学校六年生で学習した漢字（４） ・ 常用漢字表（１２）
 ・ 「付表」の語（１） ・ 一年生で読みを学習した漢字・語（１）

【文法（ページ数）】

○文法の小窓 ・ 言葉の単位（１） ・ 文の成分（１） ・ 単語のいろいろ（１）
 ○言葉と文法 解説編 文法（解説） ・ 言葉の単位（３） ・ 文の成分（５）
 ・ 単語のいろいろ（５）

〈第１学年〉

【新出漢字の数及び脚注等への示し方等】

○３９２字 ○脚注に行数、音訓、本文中での読みを示している。 ○送り仮名は太字にして示している。 ○教材末に「漢字の練習」ができる二次元コードが示されている。 ○教材末に「新出漢字」として、ページ数、音訓を示しているものがある。 ○巻末に「一年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、部首、総画数、筆順、用例、慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。

【重要語句の脚注への示し方及び数】

○意味や用法を理解しておきたい語句 を、行数、記号とともに示している。

記号	記号意味	数
意	意味を調べる。	４ ９
文	短文を作る。	２ ２
類	類義語を調べる。	４
対	対義語を調べる。	３
関	関連語句を確認する。	９

光村

【言語（ページ数）】

○言葉 ・ 音声の仕組みや働き（１） ・ 指示する語句と接続する語句（３）
 ・ さまざまな表現技法（３） ・ 語彙を豊かに（２） ・ 方言と共通語（３）
 ・ 語彙ブック（８） ○資料 ・ 敬語を使う（１） ・ 学習のための用語一覧（２）

【漢字（ページ数）】

○漢字 ・ 漢字の組み立てと部首（２） ・ 漢字の音訓（２） ・ 漢字の成り立ち（２） ○漢字に親しもう（５） ○漢字の練習 ・ 小学校六年生で学習した漢字（３） ・ 小学校六年生で学習した漢字一覧（２） ○資料 ・ 一年生で学習した漢字（１３） ・ 一年生で学習した音訓（１） ・ 常用漢字表（１４） ・ 常用漢字表 付表（１）

【文法（ページ数）】

○文法への扉 ・ 言葉のまとまりを考えよう（１） ・ 言葉の関係を考えよう（１）
 ・ 単語の性質を見つけよう（１）
 ○文法 ・ 言葉の単位（４） ・ 文の組み立て（５） ・ 単語の分類（４） ・ 参考（２） ・ 口語動詞活用表 ・ 口語形容詞活用表 ・ 口語形容動詞活用表 ・ 口語助動詞活用表

【国語】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②情報の扱い方に関する事項
方 法	○情報の扱い方に関する事項の示し方及び教材名等

発行者	調査・研究内容
東書	【情報の扱い方に関する事項の示し方】 ○各学年とも、本編に情報活用に係る単元を設定し、「情報と論理の学び」の前後に、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」、「読むこと」と「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。 ○各学年とも、資料編に情報活用に係る教材「思考のヒント」を掲載している。 〈第1学年〉(教材・活動) ○「オオカミを見る目」 ・情報と論理の学び 情報の分類・比較 ○『『食文化』のレポート』比較して分かったことを伝えよう ○「私のタンポポ研究」 ・情報と論理の学び 意見と根拠 ○『『写真』の意見文』根拠を明確にして書こう ○「ニュースの見方を考えよう」 ・情報と論理の学び 原因と結果 ○『『似ている言葉』スピーチ』中心を明確にして話そう 〈第2学年〉(教材・活動) ○「ネコだって推理できる」 ・情報と論理の学び 情報の関係の表し方 ○『『地域の魅力』の紹介文』効果的に伝えよう ○「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」 ・情報と論理の学び 意見と根拠の吟味 ○『『地図』の意見文』根拠を吟味して書こう ○『『正しい』言葉は信じられるか』 ・情報と論理の学び 具体と抽象 ○「プレゼンテーション」説得力のある提案をしよう 〈第3学年〉(教材・活動) ○「絶滅の意味」 ・情報と論理の学び 情報の信頼性の確かめ方 ○『『環境』の新聞』編集して伝えよう ○「受け取る『利他』』『利己』と『利他』」 ・情報と論理の学び 具体例、根拠、反対の関係 ○『『広告』の批評文』観察・分析して論じよう
三省堂	【情報の扱い方に関する事項の示し方】 ○各学年とも、本編に情報活用に係り、「情報を関係づける」という単元を設定し、教材の掲載前に、情報の扱い方について説明している。資料を1つは掲載している。また、同単元内に「話すこと・聞くこと」又は「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。 ○各学年とも、資料編に「社会生活に生かす」として、情報活用に係る教材「著作権

	と引用」「メモを活用する」を掲載している。 〈第1学年〉(教材・活動) 6 情報を関係づける ○マンガ 「情報の扱い方」 二つのデータ、どう関係づける？ ・資料A 「防災に関するデータ」 ・資料B 「『みんなでいるから大丈夫』の怖さ」 ○行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える 〈第2学年〉(教材・活動) 6 情報を関係づける ○マンガ 「情報の扱い方」 「水問題」って何？何が原因？ ・資料A 「100年後の水を守る」 ・資料B 「飲み水は不足しているか」 ・資料C 「水問題に関する資料」 ○マンガ 「投稿文」 「複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す」 〈第3学年〉(教材・活動) 6 情報を関係づける ○マンガ 「情報の扱い方」 その口コミ信頼できる？ ・資料A 「見たいものだけ見る私たち」 ○「情報の信頼性を確かめる」
教出	【情報の扱い方に関する事項の示し方】 ○各学年とも、本編の情報活用に係る単元、第1学年「情報を得る」、第2学年「情報を捉える」、第3学年「情報を共有する」を設定し、第1・3学年は教材を4つ、第2学年は教材を3つ掲載している。 ○各学年の単元内において、教材内容を活かして「書くこと」の活動の教材を1つは掲載している。また、「学びナビ」の中で、これまでの学習を踏まえた解説を加えるとともに、情報の扱い方を掲載している。 〈第1学年〉(教材・活動) 四 情報を得る ○「総合 (SDGs)」持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える ・『エシカル』に生きよう」 ○「森には魔法つかいがいる」 ○「根拠を明確にして意見文を書く」 ○「広告の情報を考える」 〈第2学年〉(教材・活動) 四 情報を捉える ○「総合 (SDGs)」持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える ・「どう思いますか」——新聞投書から言葉を考える ・『ここにいる』を言う意味」 ・「100年後のみなさんへ」 ○「紙の建築」 ○「構成を明確にして説明文を書く」 〈第3学年〉(教材・活動) 七 情報を共有する ○「総合 (SDGs)」持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える

	・「生命とは何か」 ・「地球は死にかかっている」 ○『対話力』とは何か ○「自分の意見を述べる時」一言の力と裁判 ○「意見を共有しながら話し合う」 ○「中学校生活をまとめて作品集を作る」
光村	【情報の扱い方に関する事項の示し方】 ○各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報×SDGs」を設定し、教材を1つは掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。 ○第2・3学年の資料編において、情報の整理に関する資料を掲載している。 〈第1学年〉（教材・活動） ○情報整理のレッスン 「比較・分類」 ○「情報を整理して説明しよう」 発見したことをわかりやすく書く ○「情報収集の達人になろう」－私の「SDGs行動宣言」 ・コラム 「著作権について知ろう」 ○思考のレッスン1 「意見と根拠」 ○「根拠を明確にして書こう」 資料を引用して報告する ○思考のレッスン2 「原因と結果」 〈第2学年〉（教材・活動） ○情報整理のレッスン 「思考の視覚化」 ○「情報を整理して伝えよう」 職業ガイドを作る ○「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」－災害時における情報収集 ○「デジタル市民として生きる」 ○思考のレッスン1 「根拠の吟味」 ○「適切な根拠を選んで書こう」 意見文を書く ○思考のレッスン2 「具体と抽象」 〈第3学年〉（教材・活動） ○思考のレッスン 「具体化・抽象化」 ○「論理の展開を意識して書こう」 グラフを基に小論文を書く ○「実用的な文章を読もう」 ○「報道文を比較して読もう」 ○情報整理のレッスン 「情報の信頼性」

【国語】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	③我が国の言語文化に関する事項
方 法	○伝統的な言語文化に関する単元名・教材名及び関連する資料、読書に関わる内容及び紹介されている書籍数

発行者	調査・研究内容
東書	【伝統的な言語文化に関する単元名・教材名 伝統的な言語文化に関連する資料】 〈第1学年〉 6 伝統文化に親しむ ○「移り行く浦島太郎の物語」 ○「伊曾保物語」 ・古典コラム 古典の仮名遣い ○「竹取物語」 ・古典コラム 古典の言葉とその意味 ・資料 受け継がれる「竹取物語」 ○「矛盾「韓非子」より」 ・資料 ほかの故事成語について知ろう ・古典コラム 漢文の読み方 〈第2学年〉 6 伝統文化を味わう ○「枕草子・徒然草」 ・古典コラム 係り結び ・資料 ほかの章段も読んでみよう ○「平家物語」 ・古典コラム 表現の特徴 ・資料 「平家物語」と古典芸能 ○「漢詩」 ・古典コラム 漢詩の形式 ・資料 漢詩を楽しむ 〈第3学年〉 6 伝統文化を受け継ぐ ○「万葉・古今・新古今」 ・古典コラム 和歌の修辞 ・資料 小倉百人一首 ○「おくのほそ道」 ・古典コラム 俳諧の歴史 ・資料 芭蕉の「聖地巡礼」 ○「論語」 ・古典コラム 漢文の読み方 ・資料 世界各地の孔子廟 ・古典コラム 古典の言葉 【読書に関わる内容及び紹介されている書籍数】 ○各学年とも、本編に読書単元を2つ設定し、作品を掲載している。また、同単元内に読書案内「世界を広げる本」と言語活動の教材を掲載している。 ○各学年とも、教材末や単元末、資料編に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。また、資料編に読書案内「中学生におすすめの本」を掲載している。 〈第1学年〉 (教材) 読書への招待 ・平和のバトン ・たまごを持つように ・羽生結弦 あくなき挑戦の軌跡 ・はてしない物語 ・チョウはなぜ飛ぶか (活動) 読書と情報 図書館の活用 読書活動 本のポップ 〈第2学年〉 (教材) 読書への招待 ・鯉節—世界に誇る伝統食 ・時をかける少女 ・この世界の片隅に (活動) 読書と情報 インターネット・新聞の活用 読書活動 ビブリオバトル 〈第3学年〉 (教材) 読書への招待 ・何のために「働く」のか ・夜を乗り越える ・何のた

	めに「学ぶ」のか ・本の読み方 ・本を読めなくなった人のための読書論 ・読書の価値 ・小説以外 (活動) 読書活動 読書会の方法 読書活動 私のベストブック ○書籍紹介数 3 学年合計で305冊
三省堂	【伝統的な言語文化に関する単元名・教材名 伝統的な言語文化に関連する資料】 〈第1学年〉 5 古典に学ぶ ○月を思う心 ○「竹取物語」 ・語彙を豊かに 古語と現代語で異なる意味の語 ・古文の読み方 古典の仮名遣い ・「このあたり」ってどのあたり？ ○「故事成語一矛盾」 ・漢文の読み方 訓読の仕方 〈第2学年〉 5 古典に学ぶ ○「枕草子・徒然草」 ○「平家物語」 ・語彙を豊かに さまざまな泣き方の表現 ・読み方を学ぼう⑤物語の転換点 ・コラム あの人の歌 ○「漢詩の世界」 ・漢文の読み方 漢詩の形式 〈第3学年〉 5 古典に学ぶ ○「和歌の世界一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 ・和歌の技法 ・コラム 和歌がつなぐ思い ○「おくのほそ道」 ・語彙を豊かに「百」を含んだ語句 ・読み方を学ぼう⑤状況・背景 ○「論語」 ・漢文の読み方 訓読の仕方の確認 【読書に関わる内容及び紹介されている書籍数】 ○各学年とも、本編に「私の読書体験」を掲載し、文章中の図書及び筆者の著作した図書を紹介している。 ○「読書活動」に係る言語活動を1つ掲載している。 ○各学年とも、教材の終わりや「学びの道しるべ」中に、「私の本棚」として書籍紹介を掲載している。 ○各学年とも、資料編「読書の広場」の「小さな図書館」内で書籍紹介を掲載するとともに、日本十進分類法及び本の構造について掲載している。なお、各学年とも、「読書の広場」に第1学年6作品、第2学年5作品、第3学年5作品の読書教材を掲載している。 〈第1学年〉 (教材) 私の読書体験 本を読むことのおもしろさ (活動) 読書活動 私が選ぶこの一文 〈第2学年〉 (教材) 私の読書体験 生涯の友と出会う (活動) 読書活動 ビブリオバトル 〈第3学年〉 (教材) 私の読書体験 言葉は傘 (活動) 読書活動 ブックトーク ○書籍紹介数 3 学年合計で283冊

教出	【伝統的な言語文化に関する単元名・教材名 伝統的な言語文化に関連する資料】 〈第1学年〉 五 古典にふれる ○「昔話と古典一箱に入った桃太郎」 ○「物語の始まり一竹取物語」 ・古典の仮名遣い、いろは歌 ○「故事成語一中国の名言」 ・漢文の読み方 四季のたより 春、夏、秋、冬 〈第2学年〉 五 古典を楽しむ ○「敦盛の最期一平家物語」 ・歴史的仮名遣い、係り結び ○「随筆の味わい一枕草子・徒然草」 ○「二千五百年前からのメッセージ一孔子の言葉」 ・漢文の読み方、置き字 四季のたより 春、夏、秋、冬 〈第3学年〉 五 古典を伝える ○「旅への思い一芭蕉と『おくのほそ道』」 ○「和歌の調べ一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 ・歴史的仮名遣い、和歌の修辞、和歌の句切れとりズム ○「風景と心情一漢詩を味わう」 ・漢詩の表現の特徴、日本人が作った漢詩 四季のたより 春、夏、秋、冬 【読書に関わる内容及び紹介されている書籍数】 ○各学年とも、本編に読書単元「読書への招待」として、2作品を掲載している。また、2作品のうち最初の作品の終わりにある「みちしるべ」では、読書に係る言語活動について掲載し、後の作品では作品解説及び作者の紹介を掲載している。 ○資料編の「言葉の自習室」として、読書に関わる教材を、第1学年4作品、第2学年4作品、第3学年3作品を掲載している。 ○各学年とも、各単元末等に「広がる本の世界」として書籍紹介を掲載している。 〈第1学年〉 (教材) 読書への招待① ベンチ 読書への招待② 蜘蛛の糸 (活動) みちしるべ ・本の帯やホップを作り、本を薦めよう ・本の情報を取り出す入り口 〈第2学年〉 (教材) 読書への招待① 夢を跳ぶ 読書への招待② 坊っちゃん (活動) みちしるべ ・関心を広げ、課題を見つけてレポートを書こう ・疑問をメモにまとめよう ・図書館を活用しよう ・インターネットを活用しよう ・自分の考えをまとめよう 〈第3学年〉 (教材) 読書への招待① 薔薇のボタン 読書への招待② 最後の一句 (活動) みちしるべ ・ビブリオバトルで本の世界を広げよう ・読書の記録を取ろう ・大切な人に本を届けよう ○書籍紹介数 3学年合計で262冊
光村	【伝統的な言語文化に関する単元名・教材名 伝統的な言語文化に関連する資料】 〈第1学年〉

光村	6 いにしへの心にふれる ・古典の世界 ・音読を楽しむ「いろは歌」 ○「蓬莱の玉の枝―『竹取物語』から」 ・古典の言葉 ○「今に生きる言葉」 ・故事成語を使って体験文を書こう ・漢文を読む 季節のしおり 春、夏、秋、冬 〈第2学年〉 6 いにしへの心を訪ねる ・音読を楽しむ「平家物語」 ・「平家物語」の世界 ・「平家物語」の主な登場人物たち ○「扇の的―『平家物語』から」 ○「仁和寺にある法師―『徒然草』から」 ・人物の特徴を捉えて論じよう ○「漢詩の風景」 ・律詩について 季節のしおり 春、夏、秋、冬 〈第3学年〉 1 深まる学びへ ○「学びて時に之を習ふ―『論語』から」 ・漢文の訓読 6 いにしへの心を受け継ぐ ・和歌の世界 ・音読を楽しむ「古今和歌集 仮名序」 ○「君待つと一万葉・古今・新古今」 ・和歌の表現方法 ○「夏草―『おくのほそ道』から」 ・俳句と俳諧 ・つながる古典 ・古典名作選 ・古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう 季節のしおり 春、夏、秋、冬 【読書に関わる内容及び紹介されている書籍数】 ○各学年とも、本編に「いつも本はそばに」の読書単元を2つ設定している。1つ目の単元においては、「読書活動」「読書」「読書案内」「コラム」で構成されている。2つ目の単元においては、「読書」「読書案内」で構成されている。いずれも掲載作品について「続きはこちら」で書籍紹介をしている。 ○資料編において、各学年とも2作品の読書教材を掲載している。また、1学年では「読書感想文の書き方」を掲載している。 〈第1学年〉 (教材) 本の中の中学生 ・あと少し、もう少し ・西の魔女が死んだ ・コラム 本との出会い 研究の現場によろこそ ・四百年のスローライフ ・はやぶさ2 最強ミッションの真実 (活動) 読書を楽しむ ・ポップを作ろう ・読書会を開こう ・読書記録を続けていこう 〈第2学年〉 (教材) 翻訳作品を読み比べよう ・星の王子さま ・コラム 「わからない」は人生の宝物 「自分らしさ」を認め合う社会へ ・父と話せば ・六千回のトライの先に (活動) 読書を楽しむ ・ブックトークをしよう ・読書ポスターを作ろう ・読みたい本のリストを作ろう 〈第3学年〉 (教材) 「私の一冊」を探しにいこう ・羊と鋼の森 ・コラム ためになるってどんなこと? 本は世界への扉 ・天、共に在り ・極夜行 (活動) 読書を楽しむ ・「私の一冊」を紹介しよう ・ブックレビューを書こう ・三年間の読書を振り返り、これからの読書について考えよう ○書籍紹介数 3学年合計で338冊
----	---

【国語】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	④自分の考えを形成する活動の工夫
方 法	○話し合いに関する単元の内容の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<第3学年>【「話し合うこと」における合意形成に関する単元】 ○単元名・教材名 思いを馳せる「合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう」 ○目標 ・社会生活の中から話題を決め、多様な立場や意見を想定し、伝え合う内容を検討する。 ・進行の仕方を工夫したり、互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意を形成する。 ○学習過程 ・学習の流れ 1、話し合いのテーマを決める 2、提案したいことを出し合う 3、提案を整理する 4、話し合って意見をまとめる ・振り返る ・合意形成の仕方について 学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 ○資料等 ・言葉の力 多様な意見の想定、合意形成 ・テーマの例 ・提案を出し合った例 ・提案を整理した例 ・話し合いの例
三省堂	<第3学年>【「話し合うこと」における合意形成に関する単元】 ○単元名・教材名 豊かに想像する「グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める」 ○目標 ・話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。 ・話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。 ○学習過程 ・学習の流れ 1、「話し合いのこつ」を見つける 2、グループで話し合いをする 3、話し合いでの発言を振り返る ・学びを振り返る ・合意形成の仕方について 学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 ○資料等 ・「話し合いのこつ」と発言例 ・テーマ例 ・発言メモの例
教出	<第3学年>【「話し合うこと」における合意形成に関する単元】 ○単元名・教材名 情報を共有する「意見を共有しながら話し合う」 ○目標 ・出された意見の関係をおさえて話し合う。 ・話し合いの進行の仕方を理解し、互いの考えを尊重しながら話し合い、結論を出す。 ○学習過程 ・学習活動の流れ 1、合意形成が必要なテーマについて、自分の意見とその根拠を考える。 2、(1) 必要に応じて司会や記録などの役割を決める。(2) テーマの確認と話し合いの進め方を確認し合う。 3、(1) 手順にそって話し合いをする。

	(2) 話し合いの進行や内容を振り返る。(3) 合意形成のための話し合いにおける大切な点をクラス全体で共有する。 ・振り返り ・合意形成の仕方について 学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 ○資料等 ・意見を共有して話し合う方法 ・合意形成のための話し合いのポイント ・話し合いの会話例
光村	<第3学年>【「話し合うこと」における合意形成に関する単元】 ○単元名・教材名 価値を生み出す「合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く」 ○目標 ・複数の発言の共通点を見いだすなど、具体的な事例を抽象化して整理する。 ・多様な考え方を認め、互いの考えを生かしながら話し合い、合意形成を目指す。 ○学習過程 ・学習の流れ 1、議題を決める 2、グループで提案を考える 3、全体会議を開く 4、合意形成のポイントを振り返る ・振り返る ・合意形成の仕方について 学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 ○資料等 ・各グループの提案を座標軸で整理した例 ・話し合いの会話例 ・言の葉ポケット 「提案を検討するとき」 「互いの意見を生かして、合意形成を目指すとき」

【国語】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	⑤内容を解釈するための本文記述と図表等の関連
方 法	○文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等、図表等の種類及び数

発行者	調査・研究内容
東書	<第2学年> 【説明的な文章】 ○教材名 「ネコだって推理できる」(8ページ) ○目標 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、内容を読み取る。 ・文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。 ○図表等の種類(数) 図(3) グラフ(3) 写真(2) ○教材名 「黄金の扇風機」(4) ○目標 ・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の工夫について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深める。 ○図表等の種類(数) 写真(2) ○教材名 『正しい』言葉は信じられるか(6ページ) ○目標 ・文章を比較して、文章の構成や表現の効果について考える。 ・構成や表現を工夫して、記事を書き換える。 ○図表等の種類(数) 図(1) 写真(1) 絵(2) ○教材名 読書への招待「鯉節―世界に誇る伝統食」(6ページ) ○てびき 鯉節について分かったことや、調べてみたいことを話し合ってみよう。 ○図表等の種類(数) 絵(7) 写真(7)
三省堂	<第2学年> 【説明的な文章】 ○教材名 「人間は他の星に住むことができるのか」(6ページ) ○目標 ・文章を比較するなどして、構成や論理の展開と表現の効果について考える。 ・主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ○図表等の種類(数) 図(2) 写真(2) ○教材名 「壁に残された伝言」(7ページ) ○目標 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ○図表等の種類(数) 図(2) 写真(3) ○教材名 「味は味覚だけでは決まらない」(6ページ) ○目標 ・図表と文章などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ・文章を読んで理解した味の感じ方について、知識や経験と結びつけて自分の考えを広げる。 ○図表等の種類(数) 図(2) グラフ(3)

教出	<第2学年> 【説明的な文章】 ○教材名 「日本の花火の楽しみ」(5ページ) ○目標 ・意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ・主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。 ○図表等の種類(数) 図(1) 写真(4) ○教材名 「水の山 富士山」(6ページ) ○目標 ・意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ・主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。 ○図表等の種類(数) 図(3) 絵(1) 写真(4) ○教材名 「紙の建築」(7ページ) ○目標 ・具体と抽象などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ・事例の役割や効果を確認、得られた情報を整理しながら読む。 ○図表等の種類(数) 図(1) 写真(8)
光村	<第2学年> 【説明的な文章】 ○教材名 「クマゼミ増加の原因を探る」(8ページ) ○目標 ・情報と情報との関係を図示するなどして整理する。 ・文章全体と部分との関係や、文章と図表との関係に注意して読む。 ○図表等の種類(数) 図(3) 写真(2) グラフ(6) ○教材名 「モアイは語る―地球の未来」(6ページ) ○目標 ・意見を裏づけるための、適切な根拠の在り方について理解する。 ・知識や経験を基に、文章の構成や論理の展開、筆者の主張を吟味する。 ○図表等の種類(数) 図(3) 写真(4) ○教材名 「君は『最後の晩餐』を知っているか」(10ページ) ○目標 ・表などを用いて、情報を整理する。 ・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。 ○図表等の種類(数) 絵(6) 写真(2) 図(2)

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥問題解決的な学習を実施するための工夫
方 法	○実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動

発行者	調査・研究内容
東書	〈第1学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 分かりやすく伝える 『食文化』のレポート 比較して分かったことを伝えよう」 【目標】 ○ 日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理する。○ 内容の中心が明確になるように、分かりやすい文章の構成でレポートを書く。 【学習活動】 ○ 「食文化」について比較する個人テーマを決め、情報をカードに記録して整理した後、「調査結果」と「考察」を区別し、構成を考えてレポートをまとめ、読み合って感想を交換する活動を取り上げている。 〈第2学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 伝え方を工夫する 『地域の魅力』の紹介文 効果的に伝えよう」 【目標】 ○ 身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。○ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 【学習活動】 ○ 身近な地域に住む人に向けて紹介したい「地域の魅力」を決め、情報を集めて、図や表を使って整理し、伝えたいことや書きたいことの中心を意識して、文章の構成を考えて下書きをし、推敲して仕上げた紹介文を読み合い、感想を伝え合う活動を取り上げている。 〈第3学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 効果的に伝える 『環境』の新聞 編集して伝えよう」 【目標】 ○ 社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。○ 目的や意図に応じて文章の種類を選択し、構成や表現を工夫する。 【学習活動】 ○ 環境に関わって、グループで取り上げるテーマを決め、題材について書くための材料を集めて吟味し、文章の種類を決めて下書き・推敲をして清書した新聞を読み合って感想を交換する活動を取り上げている。
三省堂	〈第1学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ わかりやすく伝える レポート「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」 【目標】 ○ 調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。○ レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。 【学習活動】

	○ 身の回りのものやできごとの中から興味や関心のあることを選び、予想を立て、情報を集めて整理・分類し、レポートの形式で書き、読み合う活動を取り上げている。 〈第2学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 振り返って見つめる 情報誌「地域の魅力を振り返って」 ※「話す・聞く」との複合単元 【目標】 ○ 集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合って考えをまとめる。○ 地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章を整える。 【学習活動】 ○ 地域のよさや魅力に迫るために、編集会議を開いてテーマを決め情報収集を行い、レイアウトを決めた後、記事を書き、印刷・製本した雑誌を用いて発表会を行う活動を取り上げている。 〈第3学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 古典に学ぶ 漢字一字「自分自身や社会を見つめる」 【目標】 ○ 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 ○ 文章を読み合って、お互いの表現のよい点を見つける。 【学習活動】 ○ 自分自身や社会生活を振り返って最近のできごとや今年一年を漢字一字で表現し、その漢字に決めた理由やその漢字にまつわるエピソードを文章にまとめ、グループで読み合って感想を交流する活動を取り上げている。
教出	〈第1学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 考えを確かめる 「報告文を整える」 【目標】 ○ 接続する語句の役割を理解し、使う。○ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。 【学習活動】 ○ 身近な問題から、調べて報告したいテーマを決め、集めた調査結果を読み取り、書く順序を考えた後、図表を用いて調査結果をまとめ、書いた文章を推敲し、読み合う活動を取り上げている。 〈第2学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 学びを広げる「新聞の投書を書く」 【目標】 ○ さまざまな情報の集め方を理解し、活用する。○ 社会生活の中から題材を決め、材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 【学習活動】 ○ 社会生活に目を向けて課題を設定し、材料を集め、構成を検討した後、新聞の投書を書き、推敲した文章を読み合い、感想を交流する活動を取り上げている。 〈第3学年〉書くこと

	【単元名・教材名】 ○ 論理を築く 「客観性や信頼性のある記事を書く」 【目標】 ○ 情報の信頼性の確かめ方を理解し、活用する。○ 目的に応じて題材を決め、伝えたいことを明確にして記事にする。 【学習活動】 ○ 社会問題の中から興味のあるテーマを選んで情報を集め、情報の信頼性を確認した後、伝えたいことを明確にして記事を書いて推敲し、新聞の形にまとめて共有する活動を取り上げている。
光村	〈第1学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 新しい視点で 「情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く」 【目標】 ○ 集めた情報を比較したり分類したり、関係づけたりして整理する。○ 情報を取捨選択し、わかりやすく説明するためにまとめ方や順序を工夫する。 【学習活動】 ○ 取り上げる題材（道具）を選び、観察したり使ったりして気付いたことについて構成を考えて分かりやすく説明する文章を書いて推敲した後、読み合って書き方についての感想を交流する活動を取り上げている。 〈第2学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 多様な視点から「情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る」 【目標】 ○ 図や記号を使って、情報を整理する。○ 目的に応じて多様な方法で材料を集め、整理して、伝えたいことを明確にする。 【学習活動】 ○ 調べる職業を決め、知りたいことに適した調べ方を考えて多様な方法で情報を集め、図や記号などを使って整理した後、見出しや文章等の配置を考え、紙面を書いて推敲した後、読み合って感想を伝え合う活動を取り上げている。 〈第3学年〉書くこと 【単元名・教材名】 ○ 自らの考えを「考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く」 【目標】 ○ 具体と抽象の関係について理解を深める。○ 自分の考えが効果的に伝わるように、表現のしかたや論理の展開を工夫し、助言し合う。 【学習活動】 ○ 地域社会で見聞きしたことや、新聞、テレビなどのメディアを通して知ったことの中から関心のある事柄を選び、観点を決めて問いを立てて考えを深め、構成を工夫して自分の考えを書いた後、読み合って論理展開などについて助言し合う活動を取り上げている。

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑦見通しを立てて学習するための構成上の工夫
方 法	○単元名・教材名、目標、学習過程及び見通しを立てさせるための資料等

発行者	調査・研究内容
東書	〈第3学年〉批評文 【単元名・教材名】 ○ 多面的に検討する ・「広告」の批評文（観察・分析して論じよう） 【目標】 ○ 集めた材料の客観性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ○論理の展開や表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりして、説得力のある文章を書く。 【学習過程】 ○ 学習の流れ ①批評の対象について知る ②対象を観察・分析する ③対象を比較して判断する ④批評文を書く ⑤読み合って評価する ○ 振り返る 【資料等】 ○批評の対象例（広報記事、広告）○観察・分析のメモの例 ○完成作品例 ○問題（広報記事、広告）
三省堂	〈第3学年〉批評文 【単元名・教材名】 ○ ものの見方・感性を養う ・批評文（観察・分析を通して評価する） 【目標】 ○ 読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。 ○ 論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 【学習過程】 ○ 学習の流れ ①題材を決める ②対象を観察・分析する ③構成を考えて批評文を書く ④交流して相互評価する ○ 学びを振り返る 【資料等】 ○思考の方法例 仮定する（俳句） ○批評文の例（俳句）
教出	〈第3学年〉批評文 【単元名・教材名】 ○ 関係を問う ・説得力のある批評文を書く 【目標】 ○ 取り上げる資料と自分の知識や経験との関係について整理する。 ○ 多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成や表現の仕方を工夫する。 【学習過程】 ○ 学習活動の流れ 題材①批評する観点を決めて対象を観察する。／気づいた特徴を分析する。 構成②判断や評価が伝わりやすい構成を考える。 考えの形成・記述③効果的な書き出し方やまとめ方を考え、批評文を書く。 推敲④書いた批評文に説得力があるか考えながら推敲する。 共有⑤できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。 ○ 振り返り 【資料等】

	○関係を整理する方法（ポスター比較表） ○観点を決めて批評する（２つのポスターとそれぞれの解説） ○批評文例（よりよい駅のポスター）
光村	〈第３学年〉批評文 【単元名・教材名】 ○ 自らの考えを ・考えを効果的に伝えよう（多角的に分析して批評文を書く） 【目標】 ○ 具体と抽象の関係について理解を深める。 ○ 自分の考えが効果的に伝わるように、表現のしかたや論理の展開を工夫し、助言し合う。 【学習過程】 ○（学習の流れ）①題材を選ぶ ②観点を決めて分析する ③構成を考える ④批評文を書く ⑤友達と文章を読み合う ○振り返る 【資料等】 ○題材の例（広告） ○分析例（観点ごとの問いとそれに対する自分の考え） ○批評文の例（広告）

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑧学習を振り返るための工夫
方 法	○学習の振り返りの示し方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	【学習の振り返りの示し方】 ○教材文の「見通す」に目標、生徒目線で書かれた「問いかけ」が示され、教材末の「振り返る」で生徒自身が確認するようになっている。 ○振り返りには、目標に対して学んだことを振り返るように促している。 【具体例】 〈第1学年〉「話すこと・聞くこと」スピーチ ○単元名 ・伝え方を考える ○教材名 「似ている言葉」スピーチ 中心を明確にして話そう ○目標 ・話の中心を明確にし、(事実と考えとの関係に注意して、構成を考える。 ・聞き手の反応を踏まえて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 ○問いかけ ・分かりやすいスピーチをするためには、構成や話し方をどのように工夫したらいいんだろう。 ○振り返る ・スピーチの構成や、聞き手の反応を踏まえた話し方について学んだことを振り返り、これからの学習や生活に生かそう。
三省堂	【学習の振り返りの示し方】 ○教材冒頭で目標を示し、教材末の「学びを振り返る」で、学んだことを自分の言葉でまとめるようになっている。また、振り返りのキーワードがある。 ○目標で示した項目を「思考の方法」を用いて学習し、それについて自分の言葉で振り返るようになっている。 【具体例】 〈第1学年〉「話すこと・聞くこと」スピーチ ○単元名 ・論理的に考える ○教材名 「スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える」 ○目標 ・日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 ・聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。 ○思考の方法 ・順序立てる ○学びを振り返る ・構成を工夫して魅力を伝えるためには、どんなことが大切か、学んだことを自分の言葉でまとめましょう。 ・「振り返りのキーワード」最も伝えたいこと・事実・理由づけ
教出	【学習の振り返りの示し方】 ○学習目標に即した振り返りが掲載され、生徒自身で確認するようになっている。 ○「振り返り」は、「知識・技能」「思考・判断・表現」の振り返りと、「主体的に学習に取り組む態度」の振り返りからなる。 ○目標で示した項目を「学びナビ」を用いて学習し、「振り返り」で確認するようになっている。

	【具体例】 〈第1学年〉「話すこと・聞くこと」スピーチ ○単元名 ・論理を知る ○教材名 「構成を考えて話す」 ○目標 ・中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらスピーチの構成を考える。 ・相手の反応を見て、それに応じた表現の仕方を工夫する。 ○学びナビ ・構成を考える方法 ○振り返り ・話の構成、表現の仕方などに気をつけて説明をしているか。 ・相手や場の状況に応じて表現を工夫しながら話しているか。
光村	【学習の振り返りの示し方】 ○学習目標に即した振り返りと、学びを生かす振り返りが掲載されている。 ○振り返りは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の振り返りからなる。 ○目標で示した項目を「学びのカギ」を用いて学習し、「振り返る」で確認するようになっている。 【具体例】 〈第1学年〉「話すこと・聞くこと」スピーチ ○単元名 ・学びをひらく ○教材名 「話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする」 ○目標 ・声の大きさや速さ、間の取り方などを意識して話す。(知る) ・自分の伝えたいことが、わかりやすく伝わるように、話の構成や表現を工夫する。(話・聞) ○学びのカギ ・わかりやすい話の構成を考える ○振り返る ・「知る」声の大きさや間の取り方などを、どのように工夫したか。 ・「話す・聞く」自分の伝えたいことが、聞き手にはっきりとわかりやすく伝わるように、スピーチの構成や表現で工夫した点は何か。 ・「つなぐ」今回学んだことの中で、次にスピーチをするときに生かしたいことを挙げてみよう。

【国語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑨単元の構成
方 法	○単元内の教材等の配列及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	【単元内の教材等の配列】 ○「読むこと」教材と、「書くこと」教材、または「話すこと・聞くこと」教材がセットで単元構成されている。 ○古典単元は、古文、漢文、知識及び技能教材で構成されている。 【具体例＜第2学年＞「走れメロス」8 描写を味わう】 (思考力、判断力、表現力等教材) ○ 読む〈文学3〉「走れメロス」 ・てびき ○ 書く〈感性・想像〉「短歌から始まる物語 いきいきと描き出そう」 ○ 話す・聞く〈話し合う〉「リンクマップによる話し合い 話し合いで問題を検討しよう」 (知識及び技能教材) ○ 文法の窓3「助詞・助動詞 絵に合う助詞・助動詞を探そう」 ○ 漢字道場7「他教科で学ぶ漢字(2)」
三省堂	【単元内の教材等の配列】 ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○古典単元は、古文、漢文、知識及び技能教材で構成されている。 【具体例＜第2学年＞「走れメロス」9 振り返って見つめる】 (思考力、判断力、表現力等教材) ○ 小説「走れメロス」 ・学びの道しるべ ・読み方を学ぼう⑧心情把握 ・コラム「走れメロス」とシラーの「人質」 ・「走れメロス」から広げて読む太宰治の世界 (知識及び技能教材) ○ 漢字を身につけよう⑨ (思考力、判断力、表現力等教材) ○ 話す・聞く／書く 「情報誌 地域の魅力を振り返って」
教出	【単元内の教材等の配列】 ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○古典単元は、古文、漢文、近代文学、知識及び技能教材で構成されている。 【具体例＜第2学年＞「走れメロス」九 表現を味わう】 (思考力、判断力、表現力等教材) ○ 学びナビ 想像・イメージ ○ 詩「豚」 ○ 学びナビ 語り手の位置 ○ 小説「走れメロス」 ・みちしるべ (知識及び技能教材) ○ 言葉の小窓3「類義語・対義語・多義語・同音語」 (思考力、判断力、表現力等教材) ○ 「連作ショートショートを書く」

	(知識及び技能教材) ○ 漢字の広場 4 「同音の漢字 こうプレーにこう奮」 ○ 広がる本の世界 9
光村	【単元内の教材等の配列】 ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文、知識及び技能教材で構成されている。第2学年及び第3学年は、第1単元に古典教材が1編収録されている。 【具体例<第2学年>「走れメロス」 8 表現を見つめる】 (思考力、判断力、表現力等教材) ○ 小説「走れメロス」 ・学びへの扉 ・学びのカギ 人物像に着目する (知識及び技能教材) ○ 漢字に親しもう 5 ○ 文法への扉 3 「一字違いで大違い」 (思考力、判断力、表現力等教材) ○ 書く「描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く」 ・学びのカギ 表現の効果を考えて描写する (知識及び技能教材) ○ 言葉 3 「話し言葉と書き言葉」 ○ 漢字 3 「送り仮名」 (思考力、判断力、表現力等教材) ○ 話す・聞く／書く「国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る」 ・学びのカギ これまでの学びを価値づける ○ 詩「鍵」 ・学びへの扉

【国語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑩単元・教材等の配列
方 法	○配列の特徴、総単元数、思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数

発行者	調査・研究内容
東書	○必須・必修教材からなる「本編」と、参考資料としての「資料編」からなる。 ○各単元は、「読むこと」の教材と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」のどちらかの領域の教材及び知識及び技能教材で構成されている。 ○古典教材は、全学年、第6単元に配列している。 ○「読むこと」は、教材文の後に「てびき」がある。「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材は、教材の中に「てびき」の項目がある。 ○「資料編」は、「読む」「読書案内」「資料」「漢字」で構成されている。 〈第1学年〉 ・総単元数 8単元 ・話すこと・聞くこと 12ページ ・書くこと 18ページ ・読むこと 129ページ 〈第2学年〉 ・総単元数 8単元 ・話すこと・聞くこと 13ページ ・書くこと 19ページ ・読むこと 124ページ 〈第3学年〉 ・総単元数 8単元 ・話すこと・聞くこと 13ページ ・書くこと 18ページ ・読むこと 122ページ
三省堂	○「本編」と「資料編」の2部からなる。 ○各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の複数の領域からなる教材と、知識及び技能教材で構成されている。 ○「話すこと・聞くこと」の題材として読書活動に関連させたものがある。 ○古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 ○「読むこと」は、教材の前後に「読み方を学ぼう」がある。 ○「資料編」は、「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料（漢字含む）」で構成されている。 〈第1学年〉 ・総単元数 9単元 ・話すこと・聞くこと 14ページ ・書くこと 28ページ ・読むこと 126ページ 〈第2学年〉 ・総単元数 9単元 ・話すこと・聞くこと 16ページ

	・書くこと 26ページ ・読むこと 140ページ 〈第3学年〉 ・総単元数 8単元 ・話すこと・聞くこと 19ページ ・書くこと 18ページ ・読むこと 137ページ
教出	○必須・必修教材からなる本教材と、補充・参考資料としての付録教材からなる。 ○各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の内、複数の領域からなる教材と知識及び技能教材で構成されている。 ○古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 ○「読むこと」は、教材の前に「学びナビ」（見通し）を、教材文の後ろに「みちしるべ」（学習のてびき）がある。 ○付録教材（言葉の自習室）は、「読書」4作品と資料で構成されている。 〈第1学年〉 ・総単元数 9単元 ・話すこと・聞くこと 12ページ ・書くこと 13ページ ・読むこと 138ページ 〈第2学年〉 ・総単元数 9単元 ・話すこと・聞くこと 12ページ ・書くこと 18ページ ・読むこと 162ページ 〈第3学年〉 ・総単元数 8単元 ・話すこと・聞くこと 16ページ ・書くこと 13ページ ・読むこと 159ページ
光村	○「本編」と「資料編」の2部、語彙ブックからなる。 ○各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と知識及び技能の内、複数の領域で構成されている。 ○古典教材は、全学年、第6単元に配列している。 ○「読むこと」は、教材の終わりに「学びへの扉」がある。 ○巻末資料（資料編）は、「読む」「話す・聞く」「書く」「漢字」で構成されている。 〈第1学年〉 ・総単元数 8単元 ・話すこと・聞くこと 18ページ ・書くこと 23ページ ・読むこと 123ページ 〈第2学年〉 ・総単元数 8単元 ・話すこと・聞くこと 18ページ ・書くこと 23ページ

	・読むこと 125ページ 〈第3学年〉 ・総単元数 8単元 ・話すこと・聞くこと 18ページ ・書くこと 17ページ ・読むこと 114ページ
--	--

【国語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	①巻末資料の示し方
方 法	○巻末資料の示し方、内容及びページ数

発行者	調査・研究内容
東書	【巻末資料の示し方】 「文法解説」「資料編」として全学年に示している。 【内容】(第1学年)(ページ数) ○文法解説 (12) ○資料編 ・「トロッコ」等 3編(19) ・さまざまな古典作品「古事記」等(3) ・読書案内「中学生におすすめの本」(4) ・「学習の前に」「原稿用紙の使い方・推敲の観点」等(10) ・「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」(13) ○「主なデジタルコンテンツ」「デジタルコンテンツ一覧」(折込5) ○「言葉の力一覧」(2)
三省堂	【巻末資料の示し方】 「文法のまとめ」「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料」として全学年に示している。 【内容】(第1学年)(ページ数) ○「文法のまとめ」(13) ○読書の広場 ・「小さな図書館」(6) ・「日本十進分類法」「本の構造」(2)・「電車は走る」等 6編(34) ・「落語の世界」「落語 桃太郎」(6) ・「日本文学名作集」「小倉百人一首」(10) ○社会生活に生かす「著作権と引用」等(16) ○参考資料 ・「学習用語辞典」(6) ・「語彙の広がり」接頭語・接尾語(4) ・「五十音図とローマ字」「日本語と英語の音節」(2) ・「一年生で学ぶ漢字辞典」「一年生で学ぶ音訓」等(28) ・二次元コード参照先コンテンツ一覧(2) ○「読み方を学ぼう一覧」(折込5)
教出	【巻末資料の示し方】 「言葉と文法(解説編)」「言葉の自習室」「漢字」として全学年に示している。 【内容】(第1学年)(ページ数) ○言葉と文法(解説編) ・「言葉(解説)」(12) ・「文法(解説)」(13) ○言葉の自習室 ・「銀のしずく降る降る」等 4編(19) ・「伝統芸能へのいざない 落語」(1) ・「十二支と月の呼び名」等(6) ・「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」等(7) ・「一年生で学習した漢字」等(28) ○「ふるさと」を巡る(2)
光村	【巻末資料の示し方】 学びを深める「文法」「漢字」「国語の力試し」「語彙ブック」、資料編として全学年に示している。 【内容】(第1学年)(ページ数) ○学びを深める ・「文法」(15) ・「漢字練習」「小学校六年生で学習した漢字」(5頁) ・国語の力試し「読む力」「話す力・聞く力」等(5) ・語彙ブック「情景を表す言葉」等(8)

	○資料編 ・「学びのカギ」一覧（「文学的な文章を読むために」等）（6） ・発想を広げる「表現テーマ例集」等（2） ・「読書感想文の書き方」等（6） ・「幻の魚は生きていた」「坊っちゃん」（14） ・「言葉としぐさの伝統芸能」等（4） ・「一年生で学習した漢字」等（29） ・「学習のための用語一覧」（2） ○ICT活用のヒント（2）
--	---

【国語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑫デジタルコンテンツの活用
方 法	○デジタルコンテンツの数と扱い

発行者	調査・研究内容
東書	〈第3学年〉 【特徴】 ○60個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから複数の内容にリンク ○〔知識及び技能〕については、(1) 言葉の特徴や使い方及び (2) 情報の扱い方に関わる二次元コードがある。 ○〔思考力、判断力、表現力等〕については、全ての領域において「思考・判断・表現のポイント」につながる二次元コードがある。 ○A話すこと・聞くことやB書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。 ○A話すこと・聞くことやB書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。 ○C読むことにおいては、動画や外部サイトへのリンクによる作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。また、「対比と象徴」に着目して読むことにつながる二次元コードがある。 ○その他として、動画による教科書の編集意図（国語を学ぶ意図）や思考方法（ツール）、探究学習への活用につながる二次元コードがある。 【二次元コードからつながる内容とその数】 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方 ・漢字 常用漢字一覧1 ・語彙 広がる言葉5 ・文や文章・ゲーム2、解説2、練習問題2 ・言葉遣い 敬語のまとめ一覧1 (2) 情報の扱い方 「情報と情報の関係」 導入動画1、解説1、練習問題1 「情報の整理」 導入動画1、解説1、練習問題1 〔思考力、判断力、表現力等〕 A話すこと・聞くこと ・学習の流れ（動画）2 ・活動の具体例（テキスト）3、（動画）5 ・思考・判断・表現のポイント3 ・言語活動の留意点3 B書くこと ・学習の流れ（動画）3 ・活動の具体例（テキスト）4 ・思考・判断・表現のポイント4 ・言語活動の留意点3 C読むこと ・教材の朗読（動画）3 ・解説（動画）3、（外部）5 ・作者（筆者）の言葉（動画）8 ・作者の紹介（動画）5、（外部）6 ・思考・判断・表現のポイント7 ・対比と象徴に関わる導入（動画）1、解説1、練習問題1 ・教材の内容に関わる音声2 ・教材の内容に関わる動画2 ・教材の内容に関わる外部サイトへのリ

	リンク 1 ・教材のもととなった調査 1 ・読解の助け 1 〔その他〕 ・教科書の編集意図（動画） 1 ・百人一首一覧 1 ・古典文法 1 ・思考方法（ツール） 6 ・探究学習への活用 2 ・言語活動の留意点 2 ・書写との関連 1 ・ポイント一覧 1 ・コンテンツ一覧 2
三省堂	〈第 3 学年〉 【特徴】 ○ 86 個の二次元コードがあり、1 つの二次元コードから複数の内容にリンク ○ [知識及び技能] については、(1) 言葉の特徴や使い方及び (2) 情報の扱い方に関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] A 話すこと・聞くことや B 書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。 ○ C 読むことにおいては、外部サイトへのリンクによる作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。 ○ その他として、デジタル作品を全 88 作品、外部サイトへのリンクによる図書館検索、外部サイトへのリンクによる読書活動などにつながる二次元コードがある。 【二次元コードからつながる内容とその数】 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方…漢字ドリル 19、漢字クイズ 8、文や文章ドリル 2 (2) 情報の扱い方…情報と情報の関係 情報の信頼性（外部） 1 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと ・学習の流れ 1 ・活動の具体例（動画） 4 ・思考・判断・表現のポイント 1 ・ワークシート 2 ・解説（外部） 1 B 書くこと ・活動の具体例（テキスト） 1 C 読むこと ・教材の朗読（音声） 4 ・作品の紹介、解説（外部） 12、（図解） 3 ・作者（筆者）の言葉（動画） 2 ・作者の紹介（外部） 1 ・思考・判断・表現のポイント（動画） 6 ・作品の他の場面（本文・口語訳） 8 【その他】 ・作品 88 ・教科書の使い方（動画） 1 ・コンテンツ一覧 2 ・扉コンテンツ一覧 8 ・ポイント一覧 1 ・思考スキル（動画） 1 ・読書活動（外部） 3 ・思考ツール（ワークシート） 1 ・記録カード 3 ・記録カードの付け方 3 ・紹介図書一覧 3 ・図書館検索（外部） 3 ・本の分類の名称（外部） 1 ・図書館の利用（外部） 1 感想文メモ 1 ・感想文の書き方 2 ・分類、件名、ジャンル等（外部） 1
教出	〈第 3 学年〉 【特徴】 ○ 48 個の二次元コードがあり、1 つの二次元コードから 1 つの内容にリンクする。 ○ [知識及び技能] については、(1) 言葉の特徴や使い方及び (2) 情報の扱い方

	に関わる二次元コードがある。 ○〔思考力、判断力、表現力等〕B書くことにおいては、活動の具体例を示す二次元コードがある。 ○〔思考力、判断力、表現力等〕C読むことにおいては、作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。 ○その他として、選書の仕方、読書活動、図書紹介や動画によるワールドカフェの仕方やジグソー学習の仕方につながる二次元コードがある。 【二次元コードからつながる内容とその数】 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方 ・語彙…教材で学ぶ言葉5、(外部) 3、文や文章…助詞1、助動詞1 ・言葉遣い…(外部) 4 (2) 情報の扱い方 ・情報の整理…引用の仕方1 (3) 我が国の伝統文化 ・伝統的な言語文化…中学校第1学年の内容3 〔思考力、判断力、表現力等〕 B書くこと ・活動の具体例(テキスト) 3 C読むこと ・作品の紹介、解説(テキスト) 6 ・作者(筆者)の言葉(動画) 4 ・作者の紹介(外部) 1 ・内容に関わる外部へのリンク2 〔その他〕 ・コンテンツ一覧1 ・選書の仕方2 ・読書活動2 ・図書紹介1 ・古典(外部) 3 ・本が貸し出されるまで(動画) 1 ・ワールドカフェの仕方(動画) 1 ・ジグソー学習の仕方(動画) 1 ・表現に役立つ言葉1 ・学校の生活で気をつけること1
光村	〈第3学年〉 【特徴】 ○70個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから1つの内容にリンクする。 ○〔知識及び技能〕については、(1)言葉の特徴や使い方に関わる二次元コードがある。 ○〔思考力・判断力・表現等〕については、全ての領域において思考・判断・表現のポイントにつながる二次元コードがある。 ○A話すこと・聞くことやB書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。また話すこと・聞くことと書くこととの複合単位における思考・判断・表現のポイントにつながる二次元コードがある。 ○C読むことにおいては、作者(筆者)のインタビューをテキストでまとめたものや動画につながる二次元コードがある。 ○その他として、Web上の力試し問題につながる二次元コードがある。 【二次元コードからつながる内容とその数】

	〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方 ・漢字…漢字16、漢字の一覧表8 ・語彙…小学校で学んだ語彙1、中学校第1・2学年で学んだ語彙1 ・文や文章…文法ワーク2、練習問題2 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと ・活動の例(動画)6・思考・判断・表現のポイント2・一覧1・表現テーマ例2 B 書くこと ・活動(句会)の具体例(動画)1・思考・判断・表現のポイント2・一覧1 ・書くことのミニレッスン3 話すこと・聞くことと書くこととの複合 ・思考・判断・表現のポイント1・一覧1 C 読むこと ・教材の朗読(音声)5・作者(筆者)の言葉(テキスト・動画)2 ・思考・判断・表現のポイント5・一覧2・内容に関わる動画1 〔その他〕 ・コンテンツ一覧3・言語活動の留意点2・Web上の力試し問題1 ・学校生活や社会生活に役立つ資料1
--	---

令和6年 7 月 25 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 書 字

代表者 呉市立片山中 学校

氏名 諏訪本 万里代

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【書写】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方
方 法	○正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等及びページ数

発行者	調査・研究内容
東書	【正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等】 写真 ○ 文字を整えて書くための姿勢（毛筆、硬筆） ○ 用具の名前・置き方 ○ 書きやすい鉛筆の持ち方 ○ 書きやすい筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法・懸腕法、小筆：提腕法・枕腕法） ○ 後かたづけ（大筆、小筆、硯） イラスト・写真 ○ 墨のすり方 【ページ数】 2
三省堂	【正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等】 写真 ○ 姿勢と構え方（毛筆：懸腕法、硬筆） ○ 大筆の持ち方（双鉤法・単鉤法）、小筆の持ち方・構え方（提腕法・枕腕法） ○ 用具の扱い方（用具の準備・墨のすり方・用具の片づけ方） ○ 鉛筆の持ち方 イラスト ○ 筆の運び方（筆圧・穂先・軸の傾き・腕の動き）と「筆脈を意識しよう」 【ページ数】 5
教出	【正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等】 写真 ○ 基本の姿勢（大筆：懸腕法） ○ 用具の置き方 ○ 毛筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：枕腕法・提腕法） ○ 硬筆の持ち方（鉛筆・ボールペン） ○ 墨のすり方 ○ 後片づけ 【ページ数】 2
光村	【正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等】 写真 ○ 書くときの姿勢（大筆、姿勢のチェック欄） ○ タブレットを使う姿勢 ○ 筆記具の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：提腕法・枕腕法、鉛筆） ○ 用具の準備 ○ 用具の片付け（大筆、小筆、硯） 【ページ数】 4

【書写】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②文字の書き方の示し方
方 法	○筆使い及び紙面構成等の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	第1学年 行書・点画の変化について示された紙面 【筆使い】 「点画の変化」 ○ 「1 見つけよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを、点線で筆脈を示している。 ○ ポイントとなる箇所に、「行書の動きのパターン」にあてはまる筆使いをマークで示している。 【紙面構成等の示し方】 「点画の変化」 ○ 見開き2ページ ・右ページに学習のポイントを示し、左ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「見つけよう」では、楷書と行書で書かれた硬筆の文字を上下に示している。
三省堂	第1学年 行書・点画の変化について示された紙面 【筆使い】 「点画の形や方向の変化」 ○ 「書き方を学ぼう」では、矢印や点線で筆脈を示し、言葉で解説している。 ○ 主教材となる文字の行書（朱墨と薄墨）と、楷書（黒墨）を並べて示している。 【紙面構成等の示し方】 「点画の形や方向の変化」 ○ 見開き2ページ ・右ページに書き方のポイントを示し、左ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「形の変化」では、楷書と行書で書かれた毛筆の文字を上下に示している。
教出	第1学年 行書・点画の変化について示された紙面 【筆使い】 「点画の連続と変化1」 ○ 「考えよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを、矢印や点線で筆順と筆脈を示し、言葉で解説している。 ○ ポイントとなる箇所に、「変化」「連続」という文字と写真で筆使いを示している。 【紙面構成等の示し方】 「点画の連続と変化1」 ○ 見開き2ページ ・左ページにポイントを示し、右ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「試し書き」では、硬筆の楷書で字形を確認し、その下に硬筆の行書で書く欄を設けている。
光村	第1学年 行書・点画の変化について示された紙面 【筆使い】 「点画の変化」 ○ 「② 確かめよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを示すとともに、ポイントとなる箇所に、写真と言葉で筆使いを示している。

	○ 半紙原寸大の主教材の文字の横に、朱墨と薄墨で筆使いを示している。 【紙面構成等の示し方】 「点画の変化」 ○ 4 ページ ・ 見開き 2 ページで、学習の進め方を示している。 ・ 次の見開き 2 ページで、半紙原寸大の主教材の文字を示している。 ○ 「考えよう」では、楷書と行書で書かれた毛筆の文字を左右に並べて示している。
--	--

【書写】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	③目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫
方 法	○目的や必要に応じた書き方を扱う場面の設定例

発行者	調査・研究内容
東書	第2学年「楷書と行書の使い分け」 【場面設定】 ○ インタビューのメモを取る、試験の申し込み書を書く、手紙を書く 【特徴】 ○ 「目標」では、「楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要か、理解しよう」と示している。 ○ 「見つけよう」では、場面に応じて楷書と行書のどちらを使う方がよいか、考える場を設定している。 ○ 「確かめよう」では、手紙を書くには楷書と行書のどちらで書くか考える場を設定している。 ○ 「書写のかぎ」では、楷書と行書の特徴と、書体を使い分ける際の観点を示している。 ○ インタビューメモ・試験の申し込み書を、楷書と行書で書き分けた例を掲載している。
三省堂	第2学年「楷書と行書の使い分け」 【場面設定】 ○ 漢字テストの解答欄に記入する、伝言を受けたときに、簡条書きでメモを書く、贈り物をしてくれた相手にお礼状を書く 【特徴】 ○ 「目標」では、「目的や必要に応じて、書体を選択して書くことができる」と示している。 ○ 「①」では、3つの場面に応じて、楷書と行書のどちらの書体を選ぶとよいか考え、理由も含めて話し合う場を設定している。 ○ 「②」では、「①」で選択した書体で、実際に書く場を設定している。 ○ 書体を使い分ける際に意識することとして、「読み手」「目的」「状況」という観点を示している。
教出	第2学年「さまざまな書く場面」 【場面設定】 ○ 授業中（ノートにまとめる、インタビューの内容をメモする、学習した内容をまとめる）、手紙を書く、学級活動（黒板に書く、校内掲示物でお知らせをする）、学習発表会（立て看板で行事があることを伝える） 【特徴】 ○ 「目標」では、「書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう」と示している。 ○ 学習活動や日常生活の中で、場面に応じた書き方をするにどのような点に注意するとよいか、話し合う場を設定している。 ○ 「振り返ろう」には、「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入する欄を設けている。

	○ どのような点に注意するとよいか、話し合うための観点を示している。 ○ 楷書や行書が使われる場面の写真を掲載している。 ○ 教科書右下の二次元コードから、話し合いの観点を整理するワークシートにアクセスできる。
光村	第2学年「楷書と行書の使い分け」 【場面設定】 ○ インタビューのメモを取る、選挙ポスターを書く、高校の入学願書を書く、クラスの意見を黒板に書く 【特徴】 ○ 「目標」では、「場面に応じて、楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解しよう。」と示している。 ○ 「考えよう」では、場面に応じて楷書と行書のどちらで書くことが適しているか考え、実際に書く場を設定している。 ○ 「確かめよう」では、「考えよう」で考えた理由を話し合う場を設定している。また、話し合う際の観点を示している。 ○ 「生かそう」では、場面を選んで、楷書か行書で名前を書く場を設定している。 ○ 「学びのカギ」では、楷書と行書を使い分ける際の観点を示している。

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫
方 法	○教材の学習や生活の様々な場面との関連を図った単元名等及びページ数

発行者	調査・研究内容
東書	【学年】 1 【単元名等】 ○ 読みやすく書く一楷書 【教材名・資料名】 「文字といっしょに 手書き文字と活字」 「生活に広げよう 手紙を書こう—お礼状」 【単元名等】 ○ 読みやすく速く書く一行書① 【教材名・資料名】 「文字といっしょに 文字の移り変わり」 「生活に広げよう 年賀状を書こう」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 職場訪問をしよう」 「文字といっしょに いろは歌」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「少年の日の思い出」「竹取物語」 【ページ数】 18
	【学年】 2 【単元名等】 ○ 読みやすく速く書く一行書② 【教材名・資料名】 「文字といっしょに 伝統的な用具・用材」 「生活に広げよう 本のポップを書こう」 【単元名等】 ○ 楷書と行書を使い分ける 【教材名・資料名】 「楷書と行書の使い分け」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 地域の活動に参加しよう—防災訓練」 「文字といっしょに 筆記具の使い分け」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「枕草子」「走れメロス」 【ページ数】 16
	【学年】 3 【単元名等】

	○ 身の回りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く 【教材名・資料名】 「身の回りの文字の目的と工夫」 「手書き文字の特徴」 「現代につながる文字の役割」 「自分のノートを見直す—効果的な書き方を工夫する」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 思いを文字で表そう」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「故郷」「おくのほそ道」 「文字といっしょに 書の古典—今に生きる書」 【ページ数】 24 書写活用ブック 【单元名等】 ○ さまざまな書式 【教材名・資料名】 「手紙」 「ポスター・フリップ」 「新聞・リーフレット」 「その他の書式」 【单元名等】 ○ ノートの取り方・レポートの書き方 【ページ数】 15
三省堂	巻頭 【教材名・資料名】 「国語 「朝のリレー」」 【ページ数】 2 【学年】 1 【单元名等】 ○ 楷書 【教材名・資料名】 「国語 活字と手書き文字・筆順」 【单元名等】 ○ 楷書と仮名 【教材名・資料名】 「書いて身につけよう 仮名の字形／文字の大きさと配列」 ・国語「空中ブランコ乗りのキキ」「レポート」 「文字の変遷」 【单元名等】 ○ 行書 【教材名・資料名】 「書いて身につけよう 点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化」

・国語「竹取物語」「故事成語―矛盾」「トロッコ」「少年の日の思い出」
「国語 やってみよう グループ新聞を作ろう」

【ページ数】 10

【学年】 2

【单元名等】

○ 行書

【教材名・資料名】

「書いて身につけよう 点画の省略／筆順の変化」

・四十七都道府県名

【单元名等】

○ 行書と仮名

【教材名・資料名】

「書いて身につけよう 行書と仮名の調和／行書に調和する仮名」

・国語「枕草子」「平家物語」はがき（表面・裏面）

【单元名等】

○ 楷書と行書

【教材名・資料名】

「楷書と行書の使い分け」

「国語 やってみよう 情報誌を作ろう」

【ページ数】 10

【学年】 3

【单元名等】

○ 文字文化の豊かさ

【教材名・資料名】

「身のまわりの文字」

「書いて身につけよう 身のまわりの文字」

・国語「おくのほそ道」「坊っちゃん」

「国語 やってみよう 名言集をつくろう」

【ページ数】 8

資料編

【单元名等】

○ 日常の書式

【教材名・資料名】

①「便箋と封筒の書き方」

②「はがきの書き方」

③「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」

【单元名等】

○ 書写の広場

【教材名・資料名】

「文房四宝―進化する筆記具」

「書の古典」

	「書き初め（一年）」 「書き初め（二年）」 「書き初め（三年）」 【ページ数】 2 1 巻末 【教材名・資料名】 「国語 歌の言葉「群青」」 【ページ数】 1
教出	巻頭 【教材名・資料名】 「目的に合わせて書こう」 「知りたい！ さまざまな筆記具」 「ふしぎ」 【ページ数】 5 【学年】 1 【教材名・資料名】 「学習内容を効果的にノートに書こう」 【単元名等】 ○ 楷書で書こう 【教材名・資料名】 「コラム 筆、墨、硯、紙について知ろう」 【単元名等】 ○ 楷書と仮名を調和させて書こう 【教材名・資料名】 「学習を生かして書く一配列一」 ・「竹取物語」 「学校生活に生かして書く」 ・校庭の植物の観察をレポートにまとめる ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く（ポスターセッション用） 「コラム 文字の変遷」 【単元名等】 ○ 行書で書いてみよう 【教材名・資料名】 「行書学習のはじめに」 「コラム あの人が残した文字」 「コラム 活字について知ろう」 【単元名等】 ○ 書き初めを書く 【教材名・資料名】 （書き初め） 「コラム 『書くこと』の変遷」

【ページ数】 27

【学年】 2

【单元名等】

- 行書と仮名を調和させて書いてみよう

【教材名・資料名】

- 「行書に調和する仮名「いろは歌」
- 「文字の大きさと配列」
- 「コラム 短冊と色紙」
- 「書く速さを意識して書く一行書と仮名の調和」
 - ・「走れメロス」
- 「学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列」
 - ・「枕草子」「平家物語」

【单元名等】

- 学習活動や日常生活に生かして書こう

【教材名・資料名】

- 「さまざまな書く場面」
- 「コラム 日本建築と『書』」
- 「学習を生かして書く」
 - ・新聞を書く
 - ・掲示物（ポスター）に案内を書く
 - ・案内状を書く
- 「コラム 書の古典の鑑賞」

【单元名等】

- 書き初めを書く

【教材名・資料名】

（書き初め）

【ページ数】 24

【学年】 3

【单元名等】

- 行書と仮名を調和させて書こう

【教材名・資料名】

「学習を生かして書く一配列—『おくのほそ道』」

【单元名等】

- 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう

【教材名・資料名】

- 「多様な表現による文字」
- 「三年間の学習の成果を生かそう」

【单元名等】

- 書き初めを書く

【教材名・資料名】

（書き初め）

	【ページ数】 14 巻末 【单元名等】 ○書式の教室 【教材名・資料名】 「手紙の書き方」「一筆箋の書き方／封筒の書き方」 「はがきの書き方／年賀状／暑中見舞い」 「都道府県名一覧表」 「往復はがきの書き方／電子メールの書き方」 「包み紙の書き方／エアメールの書き方」 「原稿用紙の書き方／小包伝票の書き方」 「願書の書き方／志願理由書の書き方」 【单元名等】 ○ 書写で身に付けた力を、学習活動で活用しよう 【教材名・資料名】 「さまざまな考えをまとめる」 「段落の構成を考える／スピーチを評価しながら聞く」 「材料を整理して案内文を書く」 【单元名等】 ○ 補充教材集 【教材名・資料名】 「行書と仮名の調和」 【单元名等】 ○ 芸術としての書道 【ページ数】 13
光村	別冊「書写ブック」 【单元名等】 ○ 1年生[楷書] 【教材名・資料名】 「言葉を書こう1」 ・「竹取物語」、「防災かるた」、「心情を表す言葉」 【单元名等】 ○ 2年生[行書] 【教材名・資料名】 「筆順の変化」 ・和歌2首 「言葉を書こう2」 ・「平家物語」「走れメロス」「人物を表す言葉」「学習や日常に生かす」 【单元名等】 ○ 3年生 【教材名・資料名】 「言葉を書こう3」 ・「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」「おくのほそ道」「ことわざ・慣用

句」

【单元名等】

○ 2～3年生

【教材名・資料名】

「都道府県名を練習しよう」

「年賀状を書こう」

【ページ数】 11

【学年】 1

【单元名等】

○ 読みやすく書くための楷書

【教材名・資料名】

「コラム 文字の歴史を探る」

【单元名等】

○ 読みやすく速く書くための行書

【教材名・資料名】

「国語 季節のしおり①」

・俳句、短歌、季節の言葉

「国語 情報収集の達人になろう」

【ページ数】 5

【学年】 2

【单元名等】

○ 文字を使い分ける

【教材名・資料名】

「楷書と行書の使い分け」

「国語・学校生活 行書を活用しよう」

・応援旗、めくり、ポップ、学級目標、年賀状

「コラム 全国フォント見つけ隊」

「国語 季節のしおり②」

・「枕草子」

「国語 職業ガイドを作ろう」

【ページ数】 9

【学年】 3

【单元名等】

○ 文字を使い分ける

【教材名・資料名】

「考えよう 手書きのよさって、何だろう」

「全国文字マップ」

「文字の使い分け」

「コラム ユニバーサルデザインフォントって何だろう」

「総合 防災フェスタを開こう」

【单元名等】

○ 未来へ向かって

【教材名・資料名】

「コラム 自分らしい文字」

「国語 季節のしおり③」

・和歌、短歌、俳句、詩

「国語 冊子にまとめよう」

「書く道具が生まれる」

「発展 なりきり、書聖・王羲之」

【ページ数】 18

巻末

【单元名等】

○ 日常に役立つ書式

【教材名・資料名】

「手紙の書き方」「はがきの書き方」「送り状の書き方」「入学願書の書き方」「原稿用紙の書き方／レポートの書き方」

「国語・学校生活 通信文を見てみよう」

・[メール]、[タッチペンでの署名]、[プレゼンテーション]、[デジタル付箋]

「学校生活 手書きで伝えよう」

【单元名等】

○ 書き初めマスターブック

【教材名・資料名】

「全国書き初め調べ隊」

「書き初め1年生」

「書き初め2年生」

「書き初め3年生」

【ページ数】 28

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤学習の見通しを立てるための構成上の工夫
方 法	○学習過程の示し方と構成及び示し方の特徴

発行者	調査・研究内容
東書	【学習過程の示し方と構成】 「書写の学習の進め方」 ○ 目標 ・単元の目標を確かめて、学習の見通しを持つ。 ○ 1 見つけよう 「書写のかぎ」を見つめる。 ○ 「書写のかぎ」学ぶこと ・学習のポイント。 ・言葉でまとめている。 ・キーワードは太字で示している。 ○ 2 確かめよう - 実際に書いて確かめる。 ○ 3 生かそう 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。 ○ 振り返ろう ・学習を振り返って、目標を達成できたか自己評価する。 ・「書写のかぎ」のキーワードを使って、自分の言葉で説明しよう。 【示し方の特徴】 ○ 「書写の学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示している。 ○ 「1 見つけよう」では、「書写のかぎ」を見つめるための視点を示している。 ○ 「書写のかぎ」は目標が達成できるよう、箇条書きで記載されている。 ○ 「3 生かそう」や「生活に広げよう」では、学んだことを他の文字や生活の中で生かすための活動などを示している。 ○ 「振り返ろう」では、学習を通して理解したことを自分の書いた文字で振り返ったり、学習してきたことをどのように活用したかを話し合ったりする活動を示している。
三省堂	【学習過程の示し方と構成】 「この教科書の使い方・自分の文字をよりよくするために」 ○ 目標 ① 目標を確かめて学習の見通しをもつ。 ○ 書き方を学ぼう ② 書き方のポイントをつかむ。 ③ 書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているか見つける。 ○ ④ 書き方のポイントを意識して毛筆で書く。 ○ ⑤ 教材で学んだことを振り返る。 ○ 書いて身につけよう ⑥ 硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにする。 ⑦ 単元を通して学んだことが実際に活用できているか書いて確認し、学んだこ

	とを自分の言葉でまとめる。 【示し方の特徴】 ○ 「この教科書の使い方」では、「教材の構成」と「学習の流れ」を上下2段で対応させて示している。 ○ 「学習の流れ」では、単元における学習の流れを示し、「教材の構成」で示している縮小した教材と照らし合わせることで学習の流れの具体が想起しやすい構成となっている。 ○ 「書き方を学ぼう」で身に付けた書き方のポイントを意識して毛筆で書き、「書いて身につけよう」では学びを生かして硬筆で書くことで、学んだことの定着を図るような構成となっている。 ○ 単元末の「自分が学んだことを書き残そう。」では、学んだことを自分の言葉でまとめることができる記入欄を設けている。
教出	【学習過程の示し方と構成】 「学習の進め方」 ○ 目標 ・学習の目標を確かめよう。 ・学習のはじめに、硬筆や毛筆で書こう。 ○ 考えよう ・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。 ◆課題を発見し、課題を解決していく学び方 ・自ら課題を発見する。 ・課題に合った練習用紙を選択して練習する。 ◆話し合い活動をとおした学び方 ・まとめ書きについて意見を交換しよう ・筆使いを見て意見を交換しよう ○ 生かそう ・毛筆で学習したことを生かして、硬筆で他の文字を書こう。 ・まとめとして硬筆や毛筆で書き、試し書きと比べてみよう。 ○ 振り返ろう ・課題が解決できたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。 ◆相互評価をしよう ・試し書きとまとめ書きと比べて、よくなったところを伝え合う。 ○ 学習や日常生活に生かそう 【示し方の特徴】 ○ 「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 学習の目標を確かめた後、硬筆や毛筆で試し書きをすることで「考えよう」において自分の課題が見付けやすい構成となっている。 ○ 「考えよう」では、具体的に話し合う活動をさせるために「書写の学習用語」を示している。 ○ 「生かそう」では、まとめとして書いた文字を試し書きと比べる活動を示している。 ○ 「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点に沿って「できた＝○」「もう少し＝△」で自己評価できる欄を設けている。

光村	【学習過程の示し方と構成】 「中学書写スタートブック」 ○ 学習の進め方 ①考えよう ・課題について考えよう。 ・「学びのカギ」で、文字の整え方を確かめよう。 ②確かめよう ・書き方を確かめて、毛筆で書こう。 ③生かそう ・学習したことを、生かして書こう。 振り返ろう ・目標が達成できたか評価しよう。 ○ タブレットを活用しよう 活用① 筆使いや姿勢・持ち方の動画を見る。 活用② 書いている姿を撮影し、筆使いや姿勢を確かめる。 活用③ 書いた文字を撮影し、自分の課題を見つける。 整理体操 ・タブレットを使った後にやってみよう。 【示し方の特徴】 ○ 「中学書写スタートブック」の「学習の進め方」では、上段に「学習の進め方」下段に「タブレットを活用しよう」を設け、学習の過程におけるタブレットの活用例を示している。 ○ 「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 「考えよう」では、課題について考えたり話し合ったりする活動を示している。 ○ 「生かそう」では、硬筆で書いたり、学校生活でも書写の学習を生かしたりできることを示している。 ○ 「振り返ろう」では、「○」枠を設け、振り返ることができたら「✓」を記入する欄を設けている。
----	---

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫
方 法	○学習の目標及び振り返りの示し方

発行者	調査・研究内容
東書	第1学年「楷書」 【单元名】読みやすく書く 楷書 【教材名等】 ○ 点画の書き方と字形の整え方 「大志」 目標の記述 点画の書き方と字形の整え方を理解して書こう。 振り返りの記述 点画の書き方と字形の整え方について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。 ○ 仮名の書き方と字形 「あいうえお…」(五十音表) 目標の記述 仮名の書き方と字形の特徴を理解して書こう。 振り返りの記述 仮名の書き方と字形の特徴について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。 ○ 文字の大きさと配列 「夏山の 緑うつりし 小窓かな」 目標の記述 文字の大きさと配列の整え方を理解して書こう。 振り返りの記述 字の大きさと配列の整え方について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。 ○ 生活に広げよう 手紙を書こうーお礼状 目標の記述 お礼の気持ちが伝わる書き方をしよう。 振り返りの記述 これまでに書写で学習してきたことをどのように活用したか話し合おう。 【示し方】 ○「目標」と明記し、学習のまとめりにページ右下部に目標を示している。 ○「振り返ろう」と明記し、目標と対応させ、学習のまとめりに振り返りを示している。
三省堂	第1学年「楷書」 【单元名】楷書 【教材名等】 ○ 字形の整え方と筆使い「天地」 目標の記述 字形の整え方と楷書の点画の筆使いを理解して書くことができる。 振り返りの記述 字形の整え方と楷書の点画の筆使いを理解して書くことができましたか。 ○ 書いて身につけよう 字形の整え方(点画の組み立て・部分の組み立て・外形) 目標の記述 毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。 振り返りの記述 学習で学んだことを意識して、上の例を書き直そう。 自分が学んだことを書き残そう。 【单元名】楷書と仮名

	○ 仮名の字形と筆使い 「いろは歌」 目標の記述 仮名の字形と筆使いを確かめて書くことができる。 振り返りの記述 仮名の字形と筆使いを確かめて書くことができましたか。 ○ 文字の大きさと配列 「暑き日を 海に入れたり 最上川」 目標の記述 文字の大きさと配列を意識して、読みやすく書くことができる。 振り返りの記述 文字の大きさと配列を意識して、読みやすく書くことができましたか。 ○書いて身につけよう 仮名の字形／文字の大きさと配列 目標の記述 毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。 振り返りの記述 学習したことを意識して、左の文を書き直そう。自分が学んだことを書き残そう。 【示し方】 ○「目標」と明記し、学習のまとめりごとにページ右下部に目標を示している。 ○ 振り返りのマークとともに振り返りを示している。 ○ 単元末には、「振り返ろう」と明記し、学習したことを硬筆で書き直す枠を設けるとともに、学んだことを自分の言葉で書く欄を設けている。
教出	第1学年「楷書」 【单元名】 楷書で書こう 【教材名等】 ○筆使い ―基本点画― 目標の記述 基本的な筆使いを理解し、書いてみよう。 振り返りの記述 ― ○ 筆使いと字形 「天地」「成功」 目標の記述 楷書の点画の筆使いと字形を理解して書こう。 振り返りの記述 楷書の点画の筆使いと字形を理解して書けたか。 ○ 学習を生かして書く一字形、筆順― 目標の記述 字形の整え方と筆順のきまりを理解して書こう。 振り返りの記述 字形の整え方と筆順のきまりを理解して書けたか。筆順を理解して、字形を整えて書けたか。 【单元名】 楷書と仮名を調和させて書こう 【教材名等】 ○ 楷書に調和する仮名 「いろは歌」「ありがとうございました」「よろしくお願いします」 目標の記述 楷書に調和する仮名の筆使いを確かめよう。 振り返りの記述 平仮名の筆使いを理解できたか。 ○ 学習を生かして書く一配列― 目標の記述 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書こう。 振り返りの記述 漢字と仮名の大きさを理解して書けたか。行の中心を理解して

	書けたか。 ○ 学校生活に生かして書く 目標の記述 漢字と仮名の配列を理解して、日常の学習に生かして書こう。 振り返りの記述 漢字と仮名の配列を理解して、日常の学習に生かして書けたか。 【示し方】 ○「目標」と明記し、目標のマークとともに学習のまとまりの最初のページに目標を示している。 ○「振り返ろう」と明記し、振り返りのマークを示し、評価の観点に沿って「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入する欄を設けている。
光村	第1学年「楷書」 【单元名】 読みやすく書くための楷書 【教材名等】 ○ 漢字を分解してみよう 点画の種類①～⑨ 目標の記述 — 振り返りの記述 — ○ 漢字の筆使い 「天地」 目標の記述：漢字を構成する点画の種類と、その筆使いを確かめて書こう。 振り返りの記述 — ○ 楷書に調和する仮名 「いろは歌」 目標の記述 平仮名の筆使いや字形を確かめて書こう。 振り返りの記述 — ○ 文字の大きさと配列 「五月雨を あつめて早し 最上川」 目標の記述 文字の大きさと配列のポイントを確かめ、読みやすく書こう。 振り返りの記述 — 【示し方】 ○単元の冒頭に「点画の種類①～⑨」を示している。 ○学習のまとまりごとに目標を示している。 ○目標の下に目標が達成できたかチェックを入れる「振り返ろう」欄を設けている。

【書写】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦単元・教材等の配列・分量
方 法	○総ページ数、毛筆教材数・ページ数・毛筆教材例及び硬筆記入欄のページ数

発行者	調査・研究内容
東書	1 学年 【総ページ数】 3 9 巻末折込 4 【毛筆教材数】 1 1 【毛筆教材を扱うページ数】 2 0 【硬筆記入欄のページ数】 1 0 【第 1 学年で扱う毛筆教材例】 「大志」「あいうえお…（五十音）」「夏山の緑うつりし小窓かな」「日光」「大空」 「早春」「夢の実現」「温故知新」「美しい緑」
	2 学年 【総ページ数】 2 5 巻末折込 4 【毛筆教材数】 9 【毛筆教材を扱うページ数】 1 4 【硬筆記入欄のページ数】 8
	3 学年 【総ページ数】 1 7 巻末折込 8 【毛筆教材数】 5 【毛筆教材を扱うページ数】 6 【硬筆記入欄のページ数】 1
	資料編等 【総ページ数】 4 6 【毛筆教材数】 0 【毛筆教材を扱うページ数】 0 【硬筆記入欄のページ数】 0
三省堂	1 学年 【総ページ数】 3 4 巻末折込 4 【毛筆教材数】 9 【毛筆教材を扱うページ数】 2 0 【硬筆記入欄のページ数】 1 1 【第 1 学年で扱う毛筆教材例】 「天地」「いろは歌」「暑き日を海に入れたり最上川」「結実」「名月」「元気」「探究」 「日進月歩」「輝く生命」
	2 学年 【総ページ数】 2 2 巻末折込 4 【毛筆教材数】 8 【毛筆教材を扱うページ数】 1 2 【硬筆記入欄のページ数】 9
	3 学年 【総ページ数】 9 巻末折込 4 【毛筆教材数】 3 【毛筆教材を扱うページ数】 5 【硬筆記入欄のページ数】 2
	資料編等 【総ページ数】 3 9 巻末折込 4 【毛筆教材数】 6 【毛筆教材を扱うページ数】 4 【硬筆記入欄のページ数】 0

教出	1 学年 【総ページ数】 43 折込 8 【毛筆教材数】 12 【毛筆教材を扱うページ数】 24 【硬筆記入欄のページ数】 11 【第1学年で扱う毛筆教材例】 「天地」「成功」「いろは歌」「ありがとうございました」「よろしくお願いします」 「大」「大洋」「栄光」「平和」「新たな決意」「伝統文化」 2 学年 【総ページ数】 29 巻末折込 4 【毛筆教材数】 9 【毛筆教材を扱うページ数】 14 【硬筆記入欄のページ数】 11 3 学年 【総ページ数】 12 巻末折込 4 【毛筆教材数】 6 【毛筆教材を扱うページ数】 7 【硬筆記入欄のページ数】 2 資料編等 【総ページ数】 43 【毛筆教材数】 13 【毛筆教材を扱うページ数】 3 【硬筆記入欄のページ数】 0
光村	1 学年 【総ページ数】 27 巻末折込 5 + 1 / 3 【毛筆教材数】 13 【毛筆教材を扱うページ数】 26 + 1 / 3 【硬筆記入欄のページ数】 6 書写ブック 11 【第1学年で扱う毛筆教材例】 「天地」「いろは歌」「五月雨をあつめて早し最上川」「大木」「日光」 「不言実行」「文武両道」「強い決意」 2 学年 【総ページ数】 21 巻末折込 5 + 1 / 3 【毛筆教材数】 11 【毛筆教材を扱うページ数】 16 + 1 / 3 【硬筆記入欄のページ数】 6 書写ブック 6 3 学年 【総ページ数】 21 巻末折込 5 + 1 / 3 【毛筆教材数】 9 【毛筆教材を扱うページ数】 6 + 1 / 3 【硬筆記入欄のページ数】 3 書写ブック 4 資料編等 【総ページ数】 47 【毛筆教材数】 0 【毛筆教材を扱うページ数】 0 【硬筆記入欄のページ数】 6 書写ブック 4 (2～3年生)

【書写】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧伝統と文化に関する内容の記述
方 法	○伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	1 学年 ○【単元名等】文字といっしょに「手書き文字と活字」 【ページ数】2 【内容の扱い】明朝体の始まりを扱っている。 ○【単元名等】読みやすく書く一楷書「仮名の書き方と字形」 【ページ数】2 【内容の扱い】平仮名の成り立ちを扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「文字の移り変わり」 【ページ数】2 【内容の扱い】文字の変遷を扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「書き初めをしよう」 【ページ数】5 【内容の扱い】書き初めを扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「いろは歌」 【ページ数】1 【内容の扱い】平安時代から伝わる「いろは歌」を扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「書いて味わおう」 【ページ数】1 【内容の扱い】「少年の日の思い出」「竹取物語」を扱っている。 2 学年 ○【単元名等】読みやすく速く書く一行書②「行書に調和する仮名」 【ページ数】2 【内容の扱い】平仮名の成り立ちを扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「伝統的な用具・用材」 【ページ数】2 【内容の扱い】文房四宝を扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「書き初めをしよう」 【ページ数】5 【内容の扱い】書き初めを扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「筆記具の使い分け」 【ページ数】1 【内容の扱い】8つの筆記具を扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「書いて味わおう」 【ページ数】1 【内容の扱い】「枕草子」「走れメロス」・短歌を扱っている。 3 学年 ○【単元名等】身の回りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く「現代につながる文字の役割」 【ページ数】2 【内容の扱い】時代ごとの文字の役割を扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「書き初めをしよう」 【ページ数】5 【内容の扱い】書き初めを扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「書いて味わおう」 【ページ数】1 【内容の扱い】「故郷」「おくのほそ道」を扱っている。 ○【単元名等】文字といっしょに「書の古典—今に生きる書」 【ページ数】4 【内容の扱い】発展的な学習の教材として、高等学校の学習内容である書の古典を扱っている。

三省堂	1 学年 ○【单元名等】楷書と仮名「仮名の字形と筆使い」 【ページ数】 2 【内容の扱い】平仮名の発生、楷書の教材として「いろは歌」を扱っている。 ○【单元名等】文字の変遷 【ページ数】 2 【内容の扱い】 5つの書体を扱っている。 2 学年 ○【单元名等】行書と仮名「行書に調和する仮名」 【ページ数】 4 【内容の扱い】行書の教材として「いろは歌」「枕草子」「平家物語」を扱っている。 3 学年 ○【单元名等】文字文化の豊かさ「身のまわりの文字」 【ページ数】 4 【内容の扱い】文字文化としての文字の変遷、「おくのほそ道」「坊っちゃん」を扱っている。 資料編 ○【单元名等】書写の広場「文房四宝」 【ページ数】 2 【内容の扱い】毛筆道具と進化する筆記用具の変遷を扱っている。 ○【单元名等】書写の広場「書の古典」 【ページ数】 2 【内容の扱い】発展的な学習の教材として、高等学校の学習内容である王羲之と光明皇后の書を扱っている。 ○【单元名等】書き初め 【ページ数】 1 2 【内容の扱い】書き初めを扱っている。
教出	1 学年 ○【单元名等】コラム「筆、墨、硯、紙について知ろう」 【ページ数】 2 【内容の扱い】文房四宝を扱っている。 ○【单元名等】楷書と仮名を調和させて書こう「楷書に調和する仮名『いろは歌』」 【ページ数】 2 【内容の扱い】仮名の成立として「いろは歌」を扱っている。 ○【单元名等】楷書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書くー配列ー」 【ページ数】 2 【内容の扱い】「竹取物語」を扱っている。 ○【单元名等】コラム「文字の変遷」 【ページ数】 2 【内容の扱い】文字の変遷について扱っている。 ○【单元名等】行書で書いてみよう「行書学習のはじめに」 【ページ数】 2 【内容の扱い】行書の起源と特徴を扱っている。 ○【单元名等】コラム「あの人が残した文字」 【ページ数】 2 【内容の扱い】日本の歴史上の人物の書や手紙等を扱っている。 ○【单元名等】書き初めを書く 【ページ数】 4 【内容の扱い】書き初めを扱っている。 ○【单元名等】コラム『書くこと』の変遷 【ページ数】 4 【内容の扱い】過去から現代に至る手書き文化について扱っている。

	2 学年 ○【单元名等】行書と仮名を調和させて書いてみよう「行書に調和する仮名『いろは歌』「気持ちのつながりから文字のつながりへ」 【ページ数】2 【内容の扱い】「いろは歌」について扱うとともに、高等学校の内容として、平安時代の「連綿」を扱っている。 ○【单元名等】コラム「短冊と色紙」 【ページ数】1 【内容の扱い】平安時代や江戸時代の「懷紙」「色紙」「短冊」を扱っている。 ○【单元名等】行書と仮名を調和させて書いてみよう「学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列」 【ページ数】4 【内容の扱い】「枕草子」「平家物語」を扱っている。 ○【单元名等】コラム「日本建築と『書』」 【ページ数】2 【内容の扱い】高等学校の内容として「書院造り」を扱っている。 ○【单元名等】コラム「書の古典の鑑賞」 【ページ数】1 【内容の扱い】高等学校の内容として、書風を扱っている。 ○【单元名等】書き初めを書く 【ページ数】4 【内容の扱い】書き初めを扱っている。 3 学年 ○【单元名等】行書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く一配列」 【ページ数】2 【内容の扱い】「おくのほそ道」を扱っている。 ○【单元名等】巻末「芸術としての書道」 【ページ数】1 【内容の扱い】高等学校の内容として、古典文学を扱っている。 ○【单元名等】書き初めを書く 【ページ数】4 【内容の扱い】書き初めを扱っている。
光村	1 学年 ○【单元名等】楷書に調和する仮名 【ページ数】2 【内容の扱い】楷書として「いろは歌」を扱っている。 ○【单元名等】コラム「文字の歴史を探る」 【ページ数】2 【内容の扱い】文字の歴史を扱っている。 ○【单元名等】季節のしおり 1 【ページ数】2 【内容の扱い】古典や和歌・短歌・俳句を扱っている。 2 学年 ○【单元名等】行書に調和する仮名 【ページ数】2 【内容の扱い】行書として「いろは歌」を扱っている。 ○【单元名等】季節のしおり 2 【ページ数】2 【内容の扱い】「枕草子」を扱っている。 3 学年 ○【单元名等】季節のしおり 3 【ページ数】2 【内容の扱い】古典や短歌・俳句を扱っている。 ○【单元名等】「なりきり、書聖・王羲之」 【ページ数】1 【内容の扱い】高等学校の内容として、王羲之の書を扱っている。

	巻末 ○【単元名等】書き初めマスターブック 【ページ数】 8 【内容の扱い】書き初めの由来や全国の書き初め文化、書き初めのポイントを扱っている。 ○【単元名等】書き初め 【ページ数】 16 【内容の扱い】書き初めを扱っている。
--	--

【書写】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑨デジタルコンテンツの活用
方 法	○デジタルコンテンツの数・内容及び扱い

発行者	調査・研究内容					
東書	【数・内容】					
		二次元コード数	資料数	資料の内容		
				動画		その他
				書写動画		
				毛筆	硬筆	資料動画
	目次、巻頭	2	2	0	0	1
	1年	14	42	25	0	12
	2年	9	14	8	0	4
	3年	4	6	5	0	0
	巻末（書写活用ブック）	4	4	0	0	0
	計	33	68	38	0	17

【扱い】

- 巻頭の「書写の学習の進め方」の「コンピューターを学習に生かそう」の項で、二次元コードの使い方を示すとともに、教科用図書に掲載のデジタルコンテンツ一覧にアクセスできるURLと二次元コードを示している。
- 第1学年「はじめに」の二次元コードから、既習内容や姿勢と筆記具の持ち方、基本の点画の書き方等が確認できる。
- 1つの二次元コードから、複数の資料にアクセスできる。
- 他教科に関連する内容のページの二次元コードから、東京書籍の国語科の教科用図書の関連ページを確認できる。
- 学年末の「書写テストに挑戦！」の二次元コードから書写テストに解答できる。

三省堂	【数・内容】					
		二次元コード数	資料数	資料の内容		
				動画		その他
				書写動画		
				毛筆	硬筆	資料動画
	裏表紙	1	1	0	0	0
	目次、巻頭	3	11	0	0	11
	1年	16	30	23	0	3
	2年	9	9	7	0	0
	3年	2	2	1	0	0
	巻末（資料編）	10	16	6	0	0
	計	41	69	37	0	14

【扱い】

- 巻頭の「学習のはじめに」の二次元コードから、毛筆の際の姿勢や筆の持ち

- 学習の参考となる動画資料（外部サイト）を参照できる二次元コードが3つある。
- 他教科に関連する内容のページの二次元コードから、三省堂の国語科の教科用図書の関連ページを確認できる。
- 二次元コードの上部に「解説 動画」「参考資料」等、確認できる資料の概要が記載されている。

	二次元コード数	資料数	資料の内容			
			動画			その他
			書写動画		資料 動画	
			毛筆	硬筆		
目次、巻頭	9	11	0	0	7	4
1年	15	43	23	11	2	7
2年	12	22	9	6	0	7
3年	6	9	3	1	0	5
巻末	3	15	13	0	0	2
計	45	100	48	18	9	25

- 目次及び巻頭「まなびリンク」を活用しよう」ページで、学習におけるデジタルコンテンツの使い方が例示されている。
- 筆や硯などの学習用具を製作している会社や組合など、学習に関連する団体の Web ページの画像を閲覧できる二次元コードが 2 つ、国立文化財機構所蔵品統合検索システムにアクセスできる二次元コードが 1 つある。
- ワークシートを閲覧できる 二次元コードが 3 つある。
- 毛筆の主教材を毛筆・硬筆の楷書・硬筆の行書で書字する動画が閲覧でき、それぞれを比較しながら学習できるようになっている。

	二次元コード数	資料数	資料の内容			
			動画			その他
			書写動画		資料動画	
			毛筆	硬筆		
別冊（書写ブック）	1	1	0	0	0	1
目次、巻頭	12	18	0	0	14	4
1年	18	19	10	1	4	4
2年	11	12	6	0	0	6
3年	7	7	2	0	0	5
巻末	8	11	3	1	6	1
計	57	68	21	2	24	21

○ 巻頭の二次元コードでは、用具の扱い方や準備の仕方、姿勢、学習の前後の体操の様子の動画が閲覧できる。

	○ 学習の参考となるアニメーション動画を閲覧できる二次元コードが3つある。 ○ 二次元コード上部に「動画」「他の文字にもチャレンジ！」等、確認できる資料の概要が記載されている。 ○ 「文字マップ」や「SDGsについて」等、教科用図書に収録されていない関連資料を閲覧できる二次元コードが6つある。 ○ 「他の文字にもチャレンジ」と書かれた二次元コードからは、補助教材（毛筆の手本）が閲覧できる。
--	---